

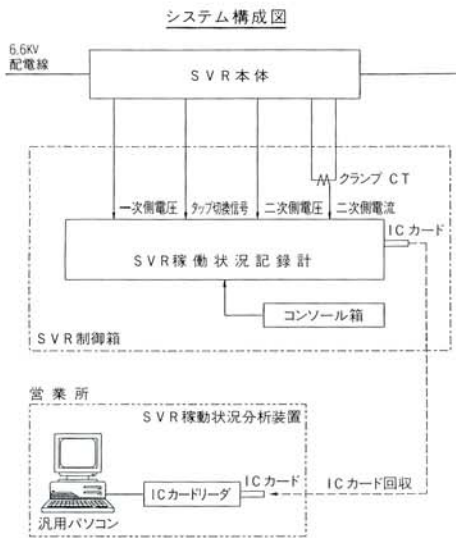
SVR稼働状況記録計

SVR Working Data Recorder

電力会社では、高圧配電線路におけるフィーダの電圧を適正な値に維持するため、必要な区間毎に自動電圧調整器 (SVR) を設置している。

本装置は、このSVRの制御箱の中に必要な期間仮設置して、電圧調整精度、負荷状態及びタップ切換動作回数など、SVRの運用管理に必要な情報を収集し、ICカードに記録する装置である。記録されたデータは、汎用パソコンを用いて分析し、その結果は必要に応じて各種グラフ化並びに一覧表化することができる。

これによりSVRの稼働状況を的確に把握するとともに、フィーダの運用状態を総合的に管理することが可能になった。



特長

- ① 小形で軽量 (1.7kg) のため、装着及び取扱いが容易である。
- ② CTはクランプ式のため、SVRへの接続及び取り外しが簡単である。
- ③ ICカードは連続3ヵ月のデータを記録できるので、負荷の季節的变化の影響も分析できる。
- ④ データの分析には、汎用パソコンを使用できる。

(梶田 記)

仕様

記録項目	一次側電圧	タップ切換前後の電圧を記録
	二次側電圧	タップ切換前後の電圧を記録
	二次側電流	タップ切換前後の電流を記録
	タップ位置	SVRの一次側と二次側の電圧比からタップ位置を算出し記録 検出タップ位置：1～9タップ
	タップ動作回数	タップ切換信号を積算し記録
	タップ切換時刻	タップ切換動作時の時刻を記録 記録内容：月 日 時 分 秒
	30分平均電圧	SVRの一次側と二次側電圧の30分移動平均を算出し、1日の最大値と最小値を記録
	制御電源電圧	AC110V (80.0～137.5V)
使用環境	周波数	50/60Hz
	使用周囲温度	-20～+60℃
	幅	130mm
寸法及び質量	奥行	90mm
	高さ	180mm
	質量	1.7kg



SVR稼働状況記録計